

## 科学館展示リニューアル基本計画の策定について

### 1 展示リニューアル基本計画策定にあたっての基本的な考え方

科学館の常設展示の多くが老朽化や劣化が進むとともに、展示内容が科学の進歩に対応できなくなりつつある。今後、施設・設備とともに、常設展示についても時代に即した展示更新を適宜行うことにより、多くの市民に愛される科学館を維持していくことが必要となることから、常設展示におけるこれからの枠組みや方向性について検討を重ねて、「展示リニューアル基本計画」として取りまとめた。

基本計画の策定に当たっては、仙台市科学館の基本理念や基本方針を踏まえるとともに、平成25年8月に策定した「展示リニューアル基本構想」の以下の展示コンセプト等を基に検討を行った。

＜展示リニューアル基本構想・展示コンセプト＞

- ① 「見て・ふれて・ためして・感じる」ことのできる科学館
- ② 新たな学びを提供できる科学館
- ③ 何度でも行ってみたいくなる科学館
- ④ 人にやさしい科学館
- ⑤ 連携を通じ地域の科学技術と利用者をつなぐ場となる科学館

### 2 展示リニューアル対象フロアとゾーニング

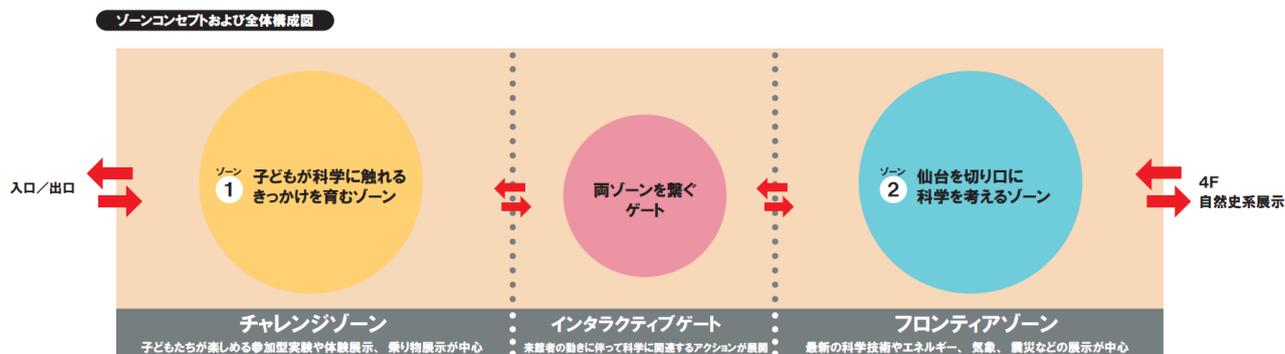
科学館の常設展示室（3階生活系展示室、4階自然史系展示室、理工系展示室）のうち、課題の多い3階生活系展示室全体を展示リニューアルの対象とする。

さらに、3階フロアを以下の2つのゾーンとそれらをつなぐゲートに分け、分かりやすい展示空間を構築する。

① チャレンジゾーン【子どもが科学に触れるきっかけを育むゾーン】

② フロントティアゾーン【仙台を切り口に科学を考えるゾーン】

※インタラクティブゲート【来館者の動きにより科学に関連するアクションが展開するゲート】



### 3 各ゾーンのねらいと展示構成案

#### ①チャレンジゾーン【子どもが科学に触れるきっかけを育むゾーン】

- ・中央のシンボル展示を核としたストーリー性のある空間コンセプト（陸・海・空・からだ・光・森の各ステージ）を設定し、夢を育みながら科学にふれられるゾーンとする。
- ・子どもたちをはじめ、親子などが心地よく体験できるよう、外光を取り入れた明るい空間とする。

##### <展示構成案>

- ・シンボル展示：チャレンジラボ，夢のキャンパス等
- ・陸のステージ：レーシングカーに乗ってみよう，歯車パズル等
- ・空のステージ：鳥人間シミュレーション等
- ・からだのステージ：からだアスレチック，サーモグラフィで見てみよう等
- ・森のステージ（幼児科学館）：自分でつくるコースター，混色シート等
- ・その他

#### ②フロンティアゾーン【仙台を切り口に科学を考えるゾーン】

- ・中央のシンボル展示は，最新科学や研究の成果を象徴するような造形とし，周辺の各コーナーは，仙台の豊かな環境や震災の経験などを踏まえ，仙台独自の視点から科学を捉えた展開とする。
- ・大学や企業等との連携による展示を行うことで，地域の科学技術や最先端の科学にふれられる場を目指す。
- ・外光を遮断し，演出照明で空間全体の没入感を高める。

##### <展示構成案>

- ・シンボル展示：国際宇宙ステーション実験棟造形等
- ・気象・環境コーナー：AR天気図等
- ・エネルギーコーナー：発電のしくみ，仙台エネシティ等
- ・地震・防災コーナー：ジオ・ウォール，探査用レスキューロボ等
- ・サイエンスフロンティアコーナー：大学や企業等との連携展示

#### ※インタラクティブゲート【来館者の動きにより科学に関連するアクションが展開するゲート】

- ・チャレンジゾーンとフロンティアゾーンを緩やかに繋ぐゲートとして，来館者の移動の動きに伴って基礎的な科学体験が生まれる場とする。

##### <展示構成案>

- ・色のついた影を見てみよう（3色の光によって床面に色のついた影ができる展示装置）